

[テーマ]

マクロデータを用いた経済理論の実証研究(「収斂の法則の検証」「不平等度の測定」「集約的 UV 関数の推定」など)

[演習内容]

(1)演習目的

経済成論はマクロ経済学の基礎的な教科書では通常カバーされているトピックですが、このような教科書では実際のデータを使った分析には、触れられていないのが通常です。また、不平等に関する実証研究やその背景として考えられる若年者雇用の労働市場での雇用のミスマッチなど、マクロ経済学の様々な分野で、経済データを用いた分析は、現実のマクロ経済の理解や政策の策定において重要視されています。このゼミでは、これらの分野において基礎的な理論を学び、実際のデータを利用し、マクロ経済の様々な側面をデータ分析を伴う形で学び、4年時の卒業研究を経て卒業論文を作成することを目標とします。

(2)演習方法

経済学の実証分析を含む論文を作成するには、経済の理論的な基礎力・データ分析のためのコンピューター・リタラシー・資料収集のための基礎力がしっかりと構築されていることが必須となります。そのため、2、3年次にこれら2つの基礎力を、ゼミ論作成のプロセスを通して、構築してゆくこととします。まず、2年次に下の②の(A)、①の(A)、(B)を養い、3年次では①の(C)、②の(B)を中心課題として卒論作成のための基礎的な能力を養います。また2年次から4年次まで、ゼミのなかで積極的に発表・発言の機会を設けたいとおもいます。

①理論的な基礎力の育成

(A)ミクロ・マクロ理論の基礎力の育成 (B)数学力の基礎力の育成 (C)統計学の基礎力の育成

②コンピューター・リタラシーの獲得とデータ・資料の収集能力の獲得

(A)Excel、Eviews、Words、Power Point などの、基礎的ソフト、そして R 関するリタラシーの開発

(B)大学図書館および、経済学部資料室など、施設の活用方法の習得

③論文作成の実践

(A)過去の論文や研究を読みこなし、要約し再提示する方法の習得

(B)形式にのっとった論文作成(パラグラフライティングなどを含む)

(C)数値的に得られた研究結果を報告・提示する方法の習得 などが含まれます。

(3)関連科目

(◎の科目は、ゼミ論を作成するために有用ですので、卒業までに履修してください。またミクロ・マクロⅠ,Ⅱ,Ⅲは経済学部の卒業生としての基礎的な素養と考えますので、履修することが望ましい。)

◎経済データ分析、◎入門数理、◎経済数学、

マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、計量経済学Ⅰ・Ⅱ

(4)参考書

鳥居泰彦(1994)『はじめての統計学』日本経済新聞社出版

など基礎的な経済統計の教科書(指定しますので、購入または図書館で借りるなど、必ず入手してください。)

(5)その他

勤勉な学成を望みます。卒業論文(ゼミ論)を書くことを目的としたゼミですので、2、3年の単位だけを希望する学生はご遠慮ください。

自分が当番でないゼミ日」はありません。また、受講を希望する学生は、

HP(<http://www.t.daito.ac.jp/~t037778/Zemi.html>)を必ず読んで面接に臨んでください。

[選考方法]

成績、面接、HPの載せられた課題により選考します。詳しく内容は、上記HPの注意を面接前に読んでください。